



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2018.2.7(No.2947)
週報 No. 29

クラブと地区の変革をめざそう

第2560地区ガバナー／新保 清久
会 長／小出子恵出
会長エレクト／松 永 一 義 (クラブ奉仕A)
会長ノミニー／若槻八十彦 (クラブ奉仕B)
副 会 長／五十嵐晋三
幹 事／吉井直樹
S A A／歸山 肇
会 計／関川 博

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場／三條市旭町2-5-10
三條信用金庫本店内
TEL 34-3311

事務局／三條市元町2-16
越前屋ホテル 3F
TEL 47-0505 FAX 46-8873

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:60名中25名
- 先々週出席率:78.18%

【先週のメイクアップ】

[1.31] 奉仕プロジェクト委員会へ
・菊池 渉さん、五十嵐昭一さん、
・伊藤寛一さん、小越憲泰さん、
・落合孝夫さん、梨本次郎さん

[2.1] 第2回ガバナー補佐会議へ
・川瀬康裕さん、関川 博さん、
・金子俊郎さん、中村和彦さん、
・小出子恵出さん、吉井直樹さん

[2.2] 吉田RCへ
・加藤紋次郎さん

[2.2] 三條ローターアクトへ
・衛藤泰男さん、松永一義さん

[2.5] 三條南RCへ
・加藤紋次郎さん、斎藤弘文さん



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶 「まちづくり団体交流会」

小出子恵出 会長



みなさんこんにちは。節分が過ぎたから寒波も悪さをしないと思いたいところです。

この4日の日曜日の午後、三條市地域経営課とNPOえんがわ主催のまちづくり講座で勉強をしてきました。

私は、住んでいる自治会に三條市から宝くじ補助金として、除雪機の購入資金を出していただいたものですから義務的に参加しました。

第1部は、市より活動資金の補助を受けている地域おこし団体の活動発表があり、第2部は、一方的に話を聴くスクール形式のまちづくりについての講演がありました。私にとっては昼寝時間でした。

午後3時からの第3部は、参加型の研修ともいえるワークショップで、やってみたいことを参加者個々が考え、お互い協力し合い合意を得るための協議をやりました。主催者側で、今までの活動内容で共通項がある10人くらいで班をつくり、10班までありました。私たちの班は下田地区の牛野尾自治会、大浦共和会、大平青友会のメンバーです。

進行役は地域づくり応援隊のお嬢さんでテーマは「新しい祭り」です。

①【パーツ】

今までやったこと&やってみたいこと：
ポストイット（商品名）紙に書き出し台紙に貼ります。18枚の活動体験や希望ができました。

②【合体案】

18枚のうち、「これとこれは同じ場所で同じ日に出来るよね。やったら面白いよね」という具合に合体させました。2案が出来ましたが、下田地区で人を呼べるとしたなら雪だ、と云うことになりました。

③【企画骨子】

企画名「みんな集まれただの雪まつり」とし、いつ：2月下旬、どこで：牛野尾、だれに：下田以外の人により多く、何を：事前作業/かまくら、雪像の雪集め、大雑把な材料収集準備。参加型/雪像造り+竹ソリ作り+餅つき大会+ひこぜん作り+ウッドキャンドル作り+焚火+イルミネーション+花火

④【ところで】

問題点：イ 若い人手をどう確保するか？

- ロ 資金は？
- ハ 保健所対策は？

解決策：イ 都会にない体験場を売る…

- ロ 都会の若者を呼ぶ
- ロ クラウドファンディング、制度資金を活用、チケット販売
- ハ 参加者が自身で調理をしているスタイル

一方的に話を聴くスクール形式と違い、参加者自身が考える「ワークショップ研修」。発見や気づきを自ら得ることになりました。

ワークショップは何回か経験をしています、30分程度で方向性が見え出せる貴重な体験をすることができました。

幹事報告

吉井直樹 幹事

◎地区米山記念奨学委員会より

「米山記念奨学期間終了者の

終了式・歓送会のご案内」

日時 3月3日(土) 受付 10:30~

会場 ホテルイタリア軒 3階・サンマルコ

◎2018-19年度版ロータリー手帳の購入希望者を回覧致します。ご希望の方は○印をお付けください。（経費は会で負担致します。）

◎東京RC会員 熊平雅人様より「抜萃のつゞり その七十七」が届いております。

◎次週 14日(水)は、夜例会「RI創立記念日・新年会」です。

お間違えのないよう、お願い致します。

ニコニコBOX

小出子恵出会長

通常通勤は25分で事務所着が、今日は3時間10分費やしました。情報不足でした。

相場弘介会員、卓話楽しみにしています。

吉井直樹さん

皆様、この大雪の中で、例会参加していただきありがとうございます。例会中止の判断ができなく皆様にご迷惑をお掛けしたかもしれません。

本日も宜しくお祈りします。

川瀬康裕さん

大雪で四駆でないと外出もできないですね。

相場さん、卓話ご苦労様です。

菊池 渉さん

例会場に向う雪道で「引き返そうか」「進もうか」to be or not to be 大問題を考えながら参りました。

樺山 仁さん

毎日の雪いじりで体のアチコチがいかれて来ます。

本日の相場会員の卓話に期待しております。

五十嵐博宣さん

自宅から例会場まで50分かけて到着しました。

雪降りやんでほしいですね。

相場さん、卓話お疲れ様です。

中條克俊さん

雪かきで疲れしました。

相場さん、本日の卓話楽しみにしています。

梨本次郎さん

皆様、大雪の除雪で大変ですね。身体をいたわって気をつけて下さい。

本日は相場さんの卓話楽しみにしています。

関川 博さん

下田は大丈夫？と合言葉のように声を掛けられます。大丈夫です。ほんの3倍です。

相場会員、卓話ドキドキですね。大雪の日がいい思い出になりますね。

相場弘介さん

欠席が続き、大変失礼を致しました。

若槻八十彦さん

大雪に困ってます。

杉山幸英さん、明田川賢一さん、伊藤寛一さん、
斎藤真澄さん、歸山 肇さん、 米山智哉さん、
金子俊郎さん、丸山行彦さん、 船越良則さん、
中村信一さん

相場弘介会員、本日は卓話ありがとうございます。
す。お話楽しみにしております。

2月7日分 ¥ 22,000
今年度累計 ¥ 907,000

「卓 話」



相場弘介 会員

あいせき株式会社の相場と申します。改めましてよろしくお
願い致します。

「新潟県と石油」と題しまし
て、国内の石油業の発展に如何
にこの新潟県が寄与しているか
ご紹介したいと思ひます。

諸説ある内容が多いので、全てが真実かは定かでは
ありませんが、記録等が残っているものが多いよう
です。その旨をお含みいただきますようお願い致
します。

「石油の起源」

まずそもそも、日本の石油の起源は新潟県から始
まりました。

今から1,350年前の668年(天智天皇7年)、第38代
天智天皇がご即位した年の7月に、「越の国 燃ゆる
土燃ゆる水をたてまつる」と日本書紀に記されてい
ます。

この燃ゆる土は石炭や泥炭とも言われてきましたが、
近年では天然アスファルトとされています。そし
て燃ゆる水はもちろん原油に近い石油のことを指
しています。

そしてこの越の国はもちろん新潟県周辺のことを
さし、採油地は西山など諸説ありますが旧黒川村、
現在の胎内市をさしている説が最有力です。

そもそも黒川村の由来が、川の流れが黒くなるほ
ど燃ゆる水が噴き出したところからきているとされ
ています。スライドの写真は胎内市のシルクルトン
記念公園内にあります、その日本最古の油田とされ
ています。

一般にはこの燃ゆる水は異臭がひどいことから、
臭水、臭生水、草生水「くそうず」と呼ばれていま
した。



日本最古の油田(シルクルトン記念公園)

天智天皇の新都 近江おおつのみや(現在の滋賀
県大津市)にて正月3日に即位式が挙行され、その年
の7月に越の国から献上されたとされています。

このならわしは現在でも引き継がれており、毎年
7月1日に胎内市黒川にて燃水祭として採油式典から
献上行列が執り行なわれます。

その際に実際に黒川で採油された原油が、6日後
の7日(7日が土日の年は5日ですが)、近江大津宮旧
跡に鎮座する近江神宮燃水祭において、黒川からの
使者により燃水献上の儀が、さながら日本書紀の記
述を再現するがごとくに厳修されます。

スライドの写真は、左から黒川燃水祭の参考図、
真中・右は近江神宮燃水祭の実際の写真です。ちな
みに、近江神宮燃水祭には現代文明の基盤である石
油に感謝する意味を込めて献灯の義という祭事もあ
り、元売り各社、石連、石商、その他各エネルギー
団体の代表者がこの日は一同にかいし参列するそう
です。



黒川燃水祭 採油式典(胎内市)



献上される黒川臭水



三条市 指定史跡 詳細地図



近江神宮 燃水祭
黒川臭水を献納する新潟県胎内市代表者

「天然ガスも新潟県」

少し石油からは離れますがエネルギーという意味では同じ、しかも三条市ということで紹介させていただきます。

なんと日本で初めて天然ガスを実用化したのは三条市如法寺でした。現在は火井の地（かせいのち）として三条市指定史跡となっています。

火井とは天然ガスが噴き出る井戸のことで、古くは燃える風と呼ばれていました。この井戸は今から373年前の1,645年（正保2年）に発見され、古くから越後七不思議のひとつに数えられていました。1,811年（文化8年）出版の北越奇談という本に葛飾北斎の挿絵付きで紹介されているのをはじめ、他にもたくさん書物で紹介されています。

明治天皇も、1,878年（明治11年）の北陸巡幸（じゅんこう）の際にご覧になり、そのとき使われた火口台は同地の海蔵院に保管されています。

近年まであったガス井戸は、現在では埋められてしまいましたが、天然ガスの利用が書物にのった最初の例としてその文化財価値が認められています。

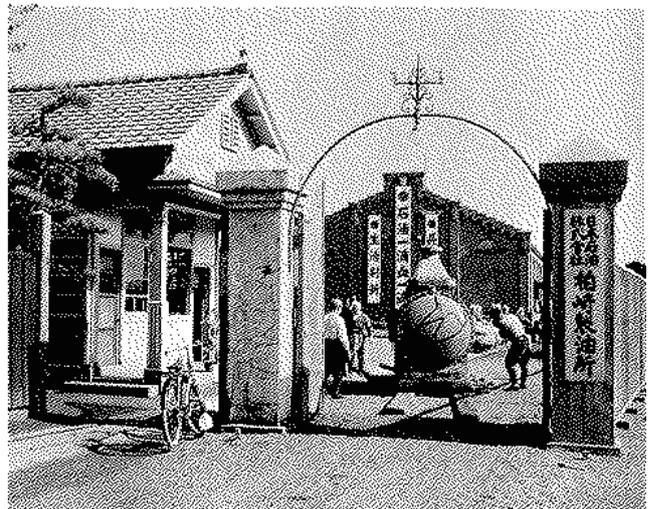
「石油製品と新潟県」

引き続き「日本初」をご紹介します。

それまで原油のまま使っていたのかは解りませんが、石油を精製することも新潟県が始まりでした。

今から166年前の1,852年（嘉永5年）に柏崎市半田村に焼酎蒸留法を利用した製油所（原油蒸留所）が建設されたとされています。ここが大きな起点となり、大規模製油所に発展したり、日本石油が一時期本社を柏崎に置いたり国内石油産業の礎となったと言っても過言ではないと思います。

スライドの写真は参考ですが、昭和15年当時の日本石油柏崎製油所です。現在の柏崎駅裏側の駅前公園にあたり、公園には記念の石碑が建っています。



昭和15年の柏崎製油所

この日本発の石油精製に使われた焼酎蒸留法は非常に簡易的な方法ではあったものの、現在で言う揮発油（ガソリンなど）と重油に相当するものを分留できたことから、とても珍重されたと言われています。スライドの写真は使用されていた20石焼酎蒸留釜です。

また同時期に、草生水から精製した透明な液体を西蒲原郡吉田に住む蘭方医が薬として使用していた

との記録もあり、こちらも方法は解りませんが石油精製と言えます。



焼酎蒸留釜

「こぼれ話」

また少し話は脱線しますがとても身近なのでご紹介します。

先ほどまでの話からいっきに昭和初期にかけて新潟県から秋田県を中心に石油採掘・精製と幅広く大発展を遂げました。

中でも新潟県はその中心的な場所であったのですが、その県内の石油産地は蒲原、三島、刈羽、古志（現在の長岡・小千谷・見附の一部）の各郡内で、それらは全て弥彦信仰の地域と重なっていました。よって関係者は石油を掘るにあたっては、まず弥彦神社に祈念して発掘の成功と工事の安全を祈願しました。

その結果、弥彦神社は石油の守護神と崇められ、その信仰は秋田県をはじめ県外にも大きく広がりました。

戦後になり海外での大規模な石油発掘が始まって、第一に弥彦神社に参拝して祈願するなど現在でも石油の守護神として大きな進行を集めています。

写真は日本石油加工柏崎工場から奉納された蒸留釜で、境内に展示してあります。説明文等もあるのですが、今お話ししている内容と「日本初」の時期等がかなりズレますので詳細はここでは控えます。が、この展示品を含めて二基しか現存しないそうです。



奉納された蒸留釜

その後、発展期における新潟県の「日本初」と功績について記載しました。

まず明治2年に石油開発で日本初の外国人雇用、明治12年に日本初のパイプライン敷設、その9年後には日本初の海底油田開発、そして燃焼器具の考案と、ハード面、ソフト面ともに日本の石油産業の最先端地区であったことを証する内容ばかりです。

一方、明治21年に日本石油が、その5年後に宝田石油がともに県内に設立されました。その後、国家政策や、外資系企業の進出など紆余曲折を経て大正10年に合併し日本石油株式会社が発足しました。これが正に現在国内シェア50%超のJXTGエネルギー(株)に繋がります。

また現在では信じられない事に、大正6年には日本は世界第8位の石油産出国という統計が発表されました。そして、次第に製油所等が太平洋側に移行しつつも、当時の石油産業の根幹を担っていたのが新潟県であったことは事実であり、古くは金山や天領、近現代では農業を中心としたイメージが色濃い一方で、近代産業の発展に石油産業という形でも大きく寄与したのが新潟県であったという事です。

結びになりますが、今回この卓話の準備を通して、弊社もこの地で石油製品を取り扱う企業として、先達の功績に恥じぬよう襟を正す良いきっかけとなりました。

この機会をいただきました事に感謝申し上げますと共に、これからも誇りを持って社業発展に尽力する所存です。

ご清聴有り難うございました。

参考資料



- 近江神社ホームページ
- 胎内市観光協会ホームページ
- 野口哲也のHP内「日本の石油業界年表(1)」
(野口哲也:三菱商事(株)在職、弟がアルピニスト野口健)
- 三条市ホームページ
- 柏崎の情報NET・「陽だまり」ホームページ
- 弥彦村ホームページ
- 「弥彦神社を巡った」ホームページ
- 渋沢社史データベース
- JXTGエネルギー(株)ホームページ

次週例会 2月21日

クラブ休会

次々週例会 2月28日

「外部卓話」
粟ヶ岳トレイルランニング実行委員会
実行委員長 佐藤卓之 様

